

室内専用

## ラミ(L10) 取扱説明書

このたびは当社商品をお買い上げいただきありがとうございました。商品は厳重な検査を行い万全を期しておりますが、万一不備な点等がございましたら、直接コミー（フリーダイヤル0120-531-073）までご連絡ください。

なお、不適切な取付けはミラーの突然の落下を招き、ケガをする恐れがあります。下記をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願いいたします。



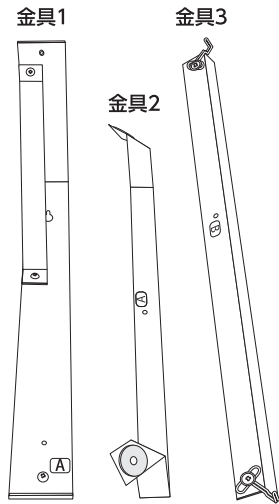
### 下記の場所では使用できません

- オイルミスト・強酸・アルカリの発生する場所
- 屋外、高温多湿な場所
- 雨風、直射日光・強い紫外線が当たる場所

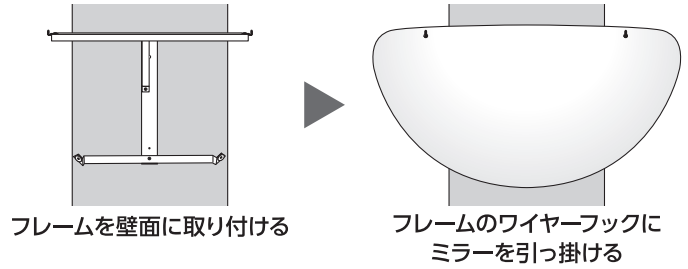
## 準備

この部品が入っていることを確認してください。

4×25トラス  
タッピングビス 2本



## 取付イメージ



## 取付方法

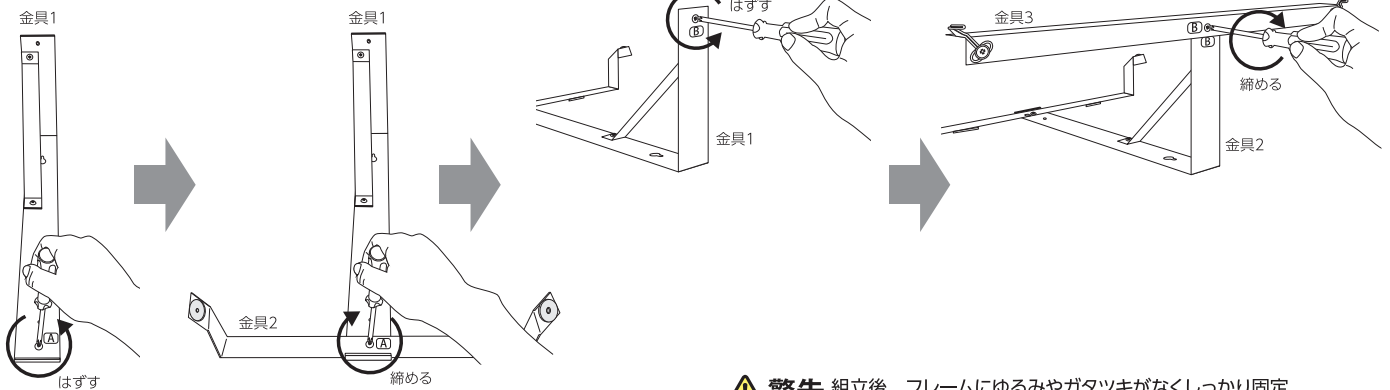
### 1 金具1、金具2、金具3を接続し、ミラーを引っ掛けるためのフレームを作ります。

① 金具1のAのビスを一度はずします。

② 金具1のAの穴の上に、金具2のAの穴を合わせ、①でははずしたビスでしっかり締めます。

③ 金具1のBのビスを一度はずします。

④ 金具2のBの穴の上に、金具3のBの穴を合わせ、③でははずしたビスでしっかり締めます。



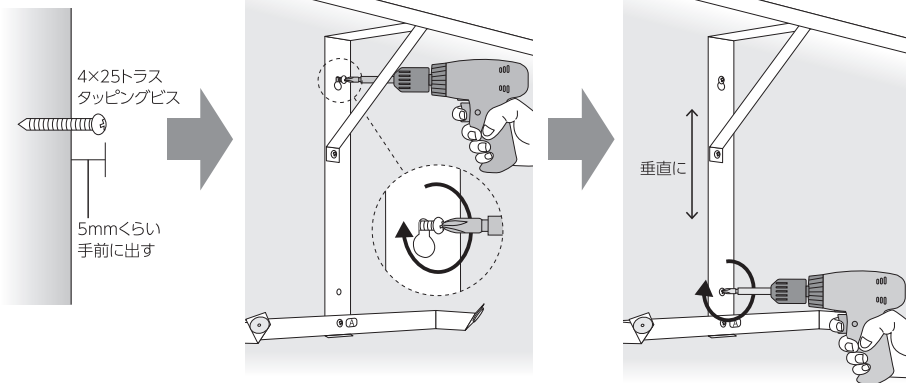
**警告** 組立後、フレームにゆらみやガタツキがなくしっかり固定されていることを確認してください。

### 2 フレームを壁に取り付けます。（石こうボード・コンクリートの壁に設置） する場合は右ページをご覧ください

① ビスを1本壁にねじ込みます。（最後まで締めず、5mmくらい手前に出します）

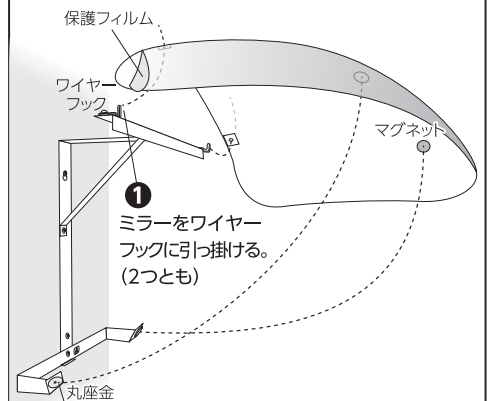
② フレームを①のビスに引っ掛け、ビスを最後まで締めます。

③ フレームの下の穴をビスで壁にとめます。



**警告** 取付後、ゆらみやガタツキがなくフレームがしっかり固定されていることを確認してください。

### 3 ミラーをフレームのワイヤーフックに引っ掛けます。



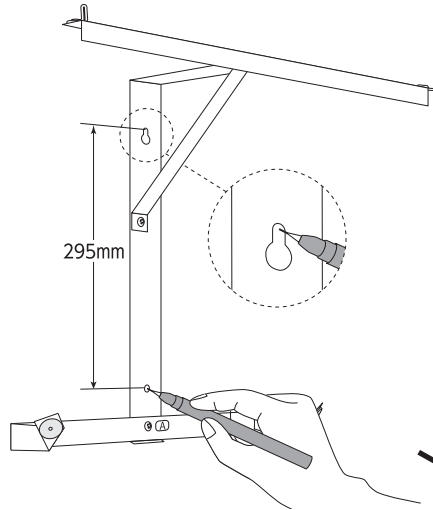
① ミラーをワイヤーフックに引っ掛ける。（2つとも）

② ミラーを下におろし、裏面のマグネットをフレームの丸座金に付けます。（カチッと音がするのを確認してください）

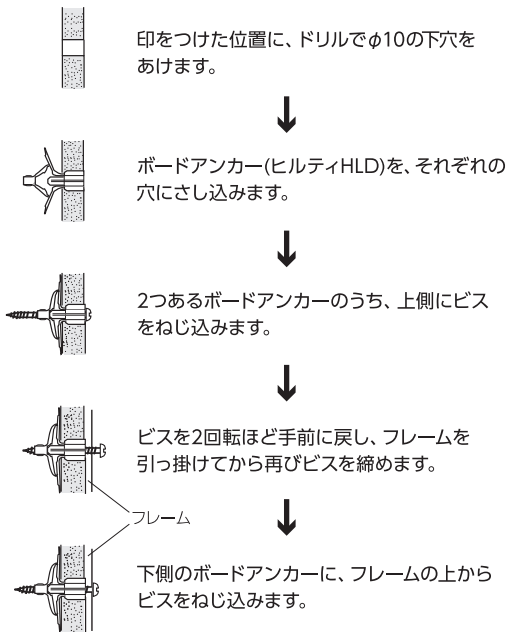
③ 最後にミラーの保護フィルムをはがします。

# フレームの取付方法（石こうボード・コンクリート壁の場合）

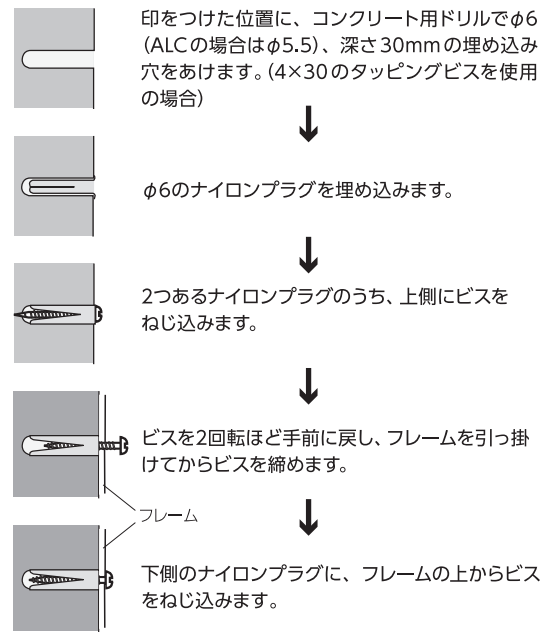
フレームを壁に当て、ビスを打つ位置に印を付けます。(295mm間隔で2か所)



## 石こうボード壁の場合 (ボードアンカーにヒルティ HLDを使った例)



## コンクリート壁の場合 (φ6のナイロンプラグを使った例)



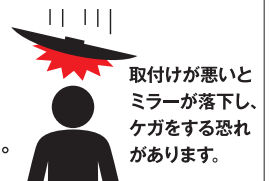
**警告** 取付後、ゆるみやガタツキがなくフレームがしっかり固定されていることを確認してください。

- ナイロンプラグやボードアンカーは、お近くの金物店・DIY店などでお買い求めください。
- 上記以外の壁に取り付けたい場合はご相談ください。

### **警告** 重大な事故の原因となります

**取付後すぐ** ミラーがしっかり固定されていることを確認してください。(例えばビスのゆるみやガタツキがないか、など)

**定期点検** 1年に1回は点検日を決めて、ミラーをきれいにし、しっかり固定されていることを確認してください。(例えば経年によるビスのゆるみやガタツキがないか、など)



取付けが悪いとミラーが落下し、ケガをする恐れがあります。

<メンテナンス> ミラーのほこりや汚れは、市販のガラスクリーナーで定期的に拭き取ってください。

<アクリルミラーの性質> 性質上、細かいキズが見られる場合がありますが、視認性には問題ありません。キズやゆがみが付く置き方はしないでください

**警告** このマークは、この表示を無視して取扱いをayedした場合に、死亡または重傷を招く可能性がある危険な内容を示しています。

**注意** このマークは、この表示を無視して取扱いをayedした場合に、傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。